【情報公開文書】

2022年2月18日作成

Ver.2.0

研究課題名	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験
所属（診療科等）	長崎大学病院 泌尿器科学
研究責任者	中村 裕一郎（医員）
研究機関	<p>《研究代表機関》 ヤンセンファーマ株式会社：後藤 章一郎</p> <p>《共同研究機関》 長崎大学病院 泌尿器科：中村 裕一郎</p> <p>その他、全国約 80 施設で実施しています。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p>
研究期間	2020年1月21日～2024年8月31日
研究目的と意義	<p>現在日本では転移性ホルモン療法感受性前立腺癌に対して多くの治療選択肢がありますが、どのような治療が行われ、病気や生活の質（QOL）がどのように変化したかを、多くの患者さんを対象にして調査した結果は十分ではありません。</p> <p>本研究の目的は、転移性ホルモン療法感受性前立腺癌と診断を受けた患者さんを対象に、日本の通常診療の治療転帰や生活の質（QOL）を長期に観察することです。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん 当院で 2019 年 5 月以降に転移性ホルモン療法感受性前立腺癌と診断を受けた方で、既にお亡くなりになられた方が対象となります。 （生存されている方は、研究参加に文書で同意いただけた方のみが対象となります。）</p> <p>●利用する情報 前立腺癌の疾患特性、前立腺癌の治療歴、合併症、併用薬、血液検査、放射線学的画像評価及び疾患進行、症候性骨関連事象、生存状態、日常生活の状態の評価 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 当院で 2019 年 5 月以降に転移性ホルモン療法感受性前立腺癌と診断を受けた方を対象に診療データを収集し、日本の通常診療の治療転帰や生活の質</p>

	<p>(QOL) を長期に観察します。</p> <p>この研究に使用する情報は、以下の機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。また、二次利用はされません。</p> <p>ヤンセンファーマ株式会社 〒101-0065 東京都千代田区西神田 3 丁目 5 番 2 号</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：中村 裕一郎（医師） 長崎大学病院 泌尿器科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7200 FAX 095（819）7215</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>